

平成25年度 柏崎市刈羽郡学校教育研究会 国語教育研究部の活動報告

部長 池田 和弘 副部長 赤澤厚史 ・ 石野秋広

部員数 小学校35名・中学校28名・県立学校14名 計77名

1 研究活動の方針

- (1) 「伝え合う力を高める指導のあり方」をテーマに、部員一人一人が日々の実践研究を進め、国語教育の充実を図る。
- (2) 柏崎市立教育センターの研修事業との連携や、研究推進校での積極的な研修などを通して研修の充実を図り、部員一人一人の資質の向上に努める。

2 実施事項・研修の内容

(1) 市教育センターとの共催による研修講座「国語教育講座」

- テーマ：国語科における論説文や言語論理にかかわる「思考力の育成」
- 講師：新潟大学 准教授 佐藤佐敏 様
- 内容： 国語科における思考力の育成について、根拠、理由、解釈の違いを明らかにし、それを意識させながら授業を進めること、そして、教材の魅力や価値に迫っていく授業を行っていくことが大切であること等を指導いただいた。

具体的な文章や詩歌の作品を引用し、その解釈について受講生同士で意見を交わす研修場面では、笑顔も見られ明るい雰囲気の中で有意義な研修を行うことができた。



(2) 国語教育研究部研修会

- テーマ：書写技能講習
- 講師：川口 優 様（上越国語教育連絡協議会主催書写技能認定書初め会審査員）
- 内容： 各学校で書初めの指導が始まる時期に合わせて11月28日に実施した。研修会は、①講師先生による実技披露、②受講者による実技練習という流れで行った。講師先生が受講者の目の前で筆を動かしながら、適宜指導のポイントを解説された。その後の実技練習では受講者の筆の運びがより良くなるように、一人一人に具体的に声を掛けてくださった。また、当日の研修を迎える前に、「上手な字を書く秘訣とは」「手本を見ながら書くことでバランスがとりづらくなってしまいがどうしたらよいか」など、受講者が日頃抱えている書写指導に関する悩みや疑問点を事前に講師先生にお送りし、紙面を通じて丁寧に答えていただいた。研修会当日の時間に限界があるため、このような形で有意義な研修を行うことができた。

(3) 国語会誌の作成と配布

- めあて…国語会誌を通して、会員相互の交流と授業力の向上に寄与する。
- 国語会誌137号 平成25年7月発行
 - ・本年度の計画の概要
 - ・研修テーマについて
 - ・「私の国語教室」
- 国語会誌138号 平成26年2月発行予定
 - ・1年間の研修の振り返り
 - ・「私の国語教室」 等